



コンビニ利用についての調査レポート

2009/10/20

株式会社ネットマイル
<http://research.netmile.co.jp/>

※本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。また、本レポートにかかわる損害賠償の責を一切負いません。
本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

コンビニ利用についての調査レポート

2009/10/20

調査概要

調査タイトル:	コンビニ利用についてのアンケート
調査手法:	インターネットリサーチ（サークルリンク会員による回答）
調査票種別:	Kidsリサーチ
実施期間:	2009/9/10 16:00 ~ 2009/9/14 18:27
有効回答数:	458

コンビニ利用について、全国の小学生・中学生を中心としたサークルリンク会員に対し調査を実施しました。

回答数は458名。「小学校低学年」については21名と少ないため、参考値として記載しています。

【性別】

「男の子」 72人 (15.7%)

「女の子」 386人 (84.3%)

【学年】

「小学1年生」 8人 (1.7%)

「小学2年生」 13人 (2.8%)

「小学3年生」 25人 (5.5%)

「小学4年生」 78人 (17.0%)

「小学5年生」 91人 (19.9%)

「小学6年生」 147人 (32.1%)

「中学1年生」 55人 (12.0%)

「中学2年生」 28人 (6.1%)

「中学3年生」 13人 (2.8%)

なお、「小学1年生」と「小学2年生」を「小学校低学年」、「小学3年生」と「小学4年生」を「小学校中学年」、「小学5年生」と「小学6年生」を「小学校高学年」、「中学1年生」～「中学3年生」を「中学生」としてまとめ、学年ごとの傾向を分析する際に使用しました。

コンビニ利用についての調査レポート

2009/10/20

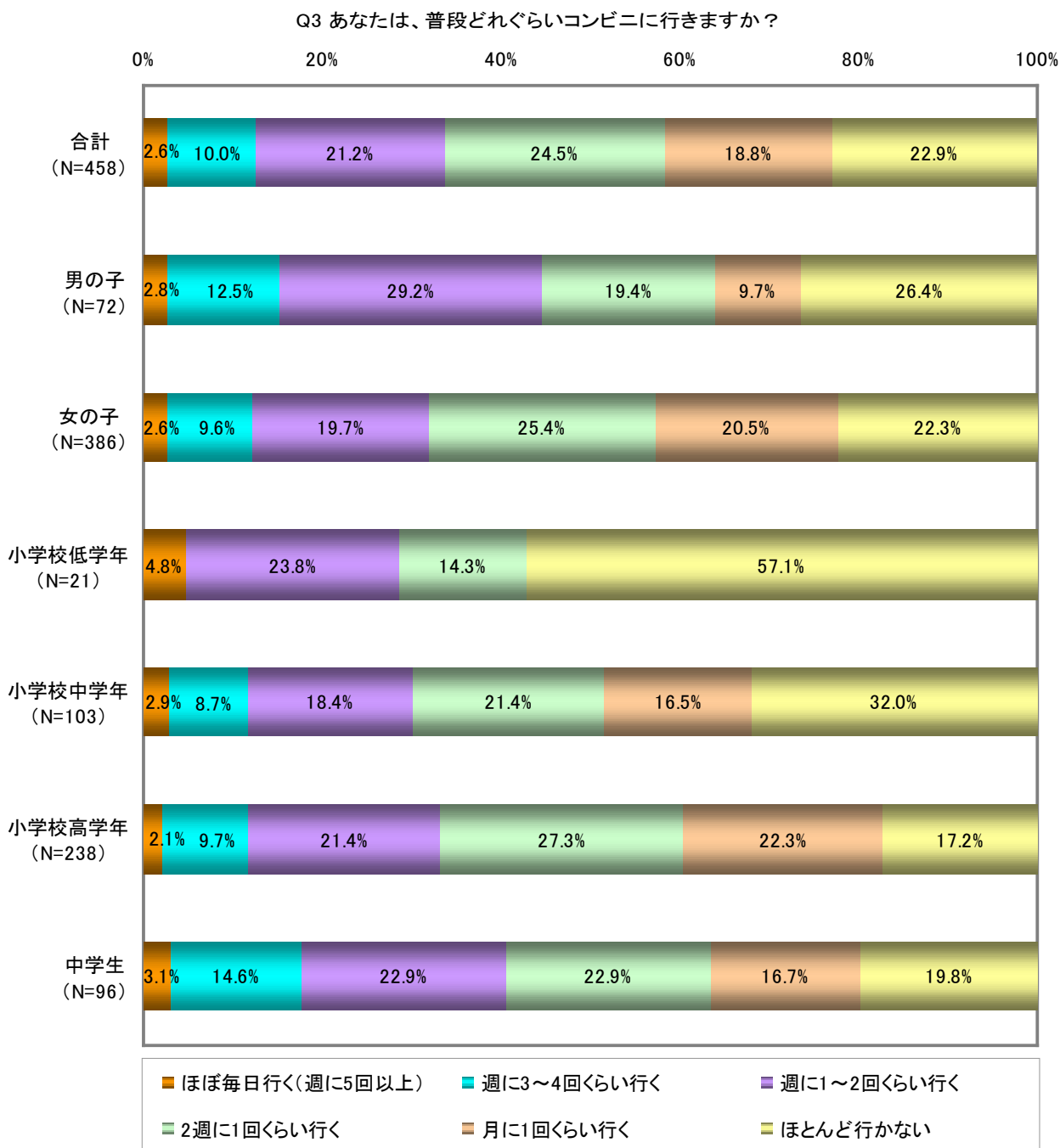
■結果概要

- ・3割以上の子どもが、週1回以上コンビニを利用。性別では男の子、学年別では中学生においてその割合が4割以上と他に比べ多く見られる。但し2008年の調査結果との比較では、利用頻度は減少傾向に。
- ・4割以上の子どもが、よく行くコンビニについて「セブン-イレブン」と回答。
- ・「家の近く」のコンビニに行く子どもが7割近く。また、「学校の近く」のコンビニを利用するのは男の子よりも女の子に多い。
- ・コンビニ利用は、「休日」が6割近く、「遊んでいる時」が3割以上、「放課後」が3割近く。中学生の学校帰り・塾帰りのコンビニ利用頻度が高め。
- ・コンビニと一緒に行く相手は、男の子は「友だち」、女の子は「母親」が多い。
- ・コンビニ利用目的1位は「お菓子を買いに」で8割近く。また、中学生になると利用目的が多様化する様子。
- ・7割以上の子どもが、一回に500円以下のお買い物。また、女の子の方が一回のコンビニ代が高め。
- ・コンビニに行く理由1位は「家、学校などの近くや通り道にあるから」で5割近く。
- ・「コンビニ」に対して、「何でもあって、いつでも開いていて、楽しい」というイメージを抱いている様子。

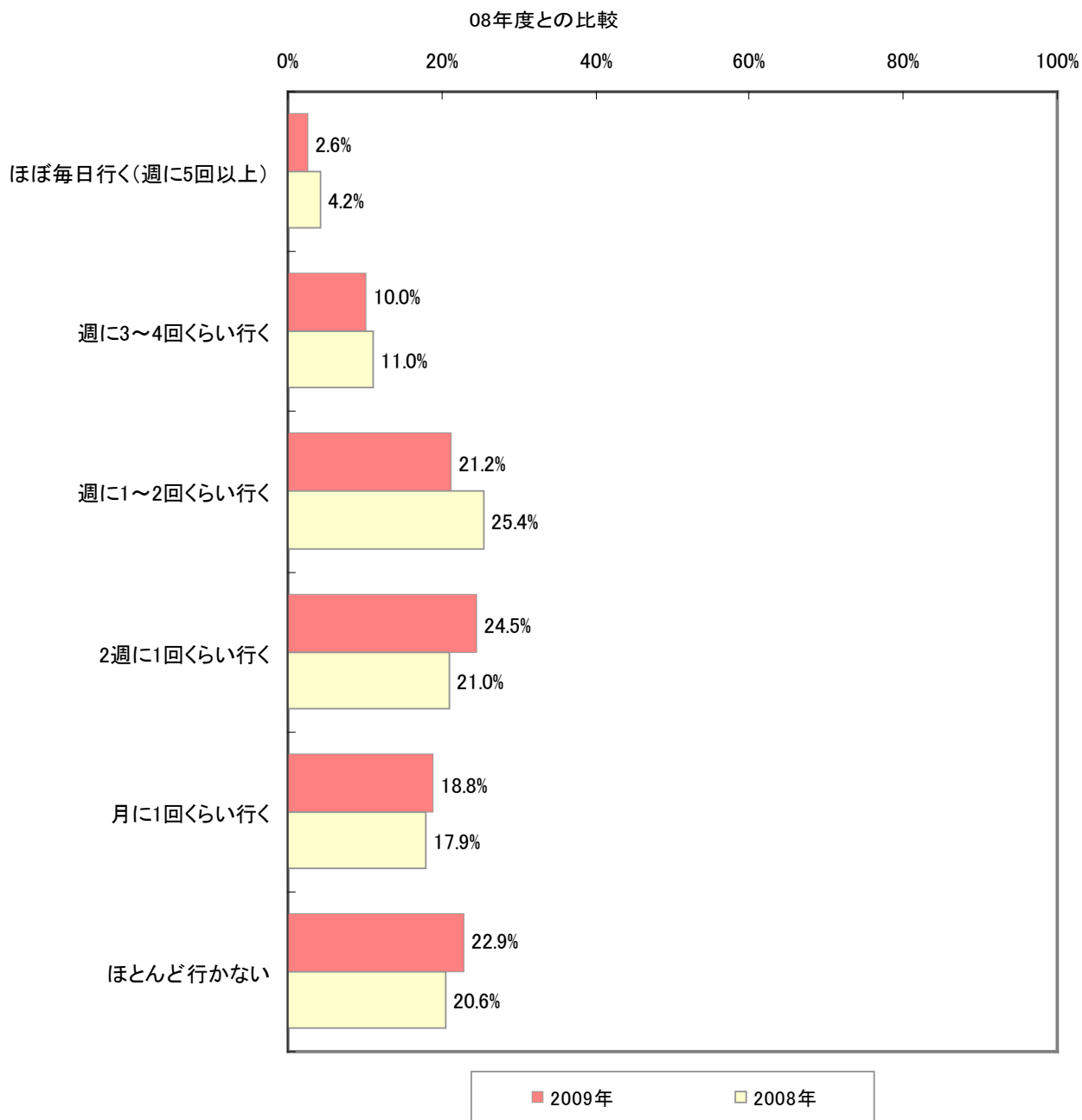
3割以上の子どもが週1回以上コンビニを利用

普段のコンビニ利用頻度について全体でみると、「2週に1回くらい行く」が全体の24.5%と最も多く、次いで「週に1～2回くらい行く」が21.2%、「月に1回くらい行く」が18.8%と続きました。また、全体の3割以上が週1回以上コンビニを利用しているという結果になりました。特に性別でみると男の子、学年別でみると中学生において、回答が4割以上と他に比べやや多くなっていました。学年が上がるにつれ、行動範囲が広がったり、お小遣いが増えたり、といった生活面での変化に伴う影響が出ていると言えるかもしれません。

2008年の調査結果との比較では、「2週に1回くらい行く」の回答がやや増加した一方で、「週に1～2回くらい行く」の回答が若干減少しており、全体的にコンビニ利用頻度は減少傾向にあることがうかがえました。



3割以上の子どもが週1回以上コンビニを利用

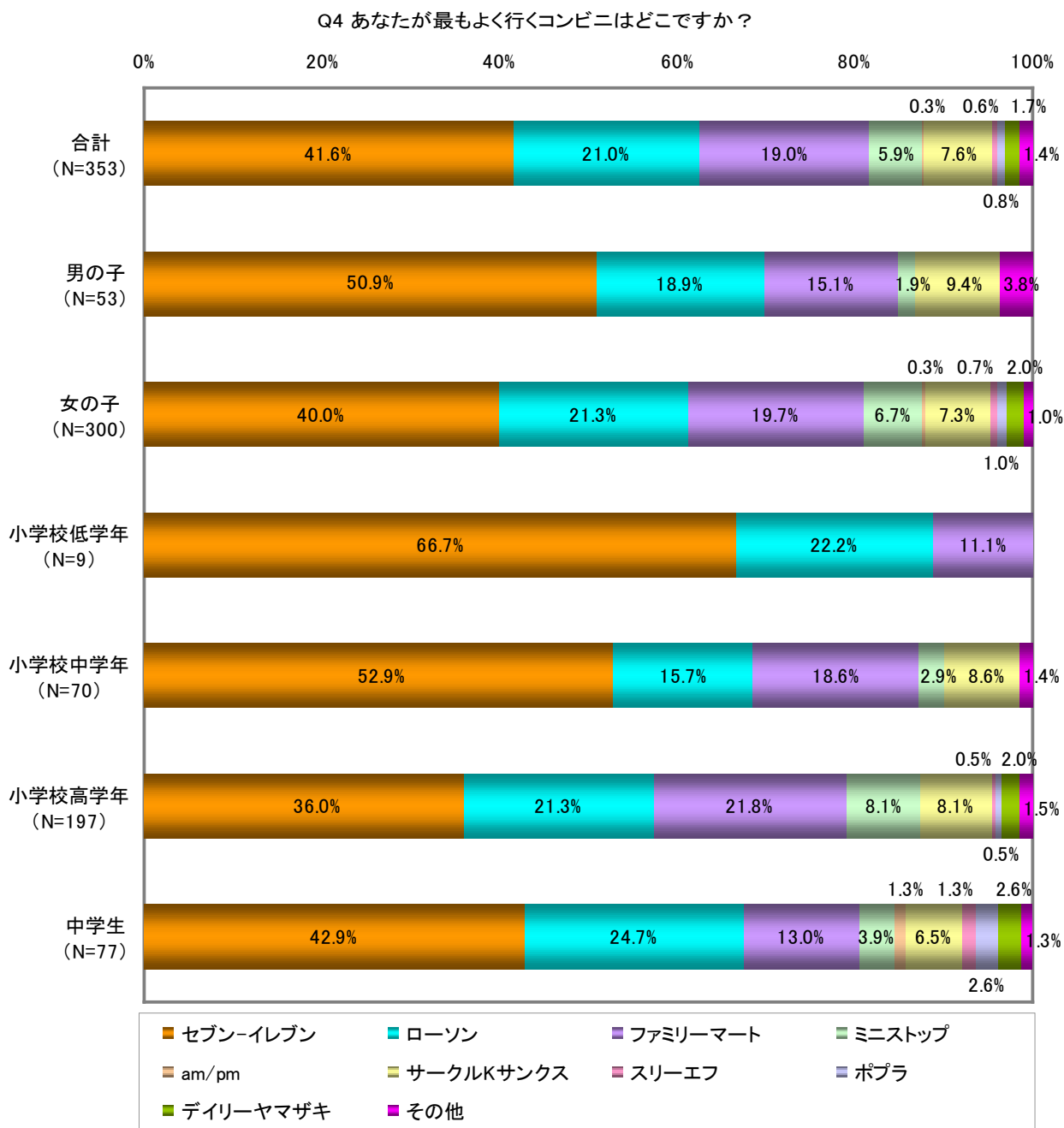


よく行くコンビニは「セブン-イレブン」

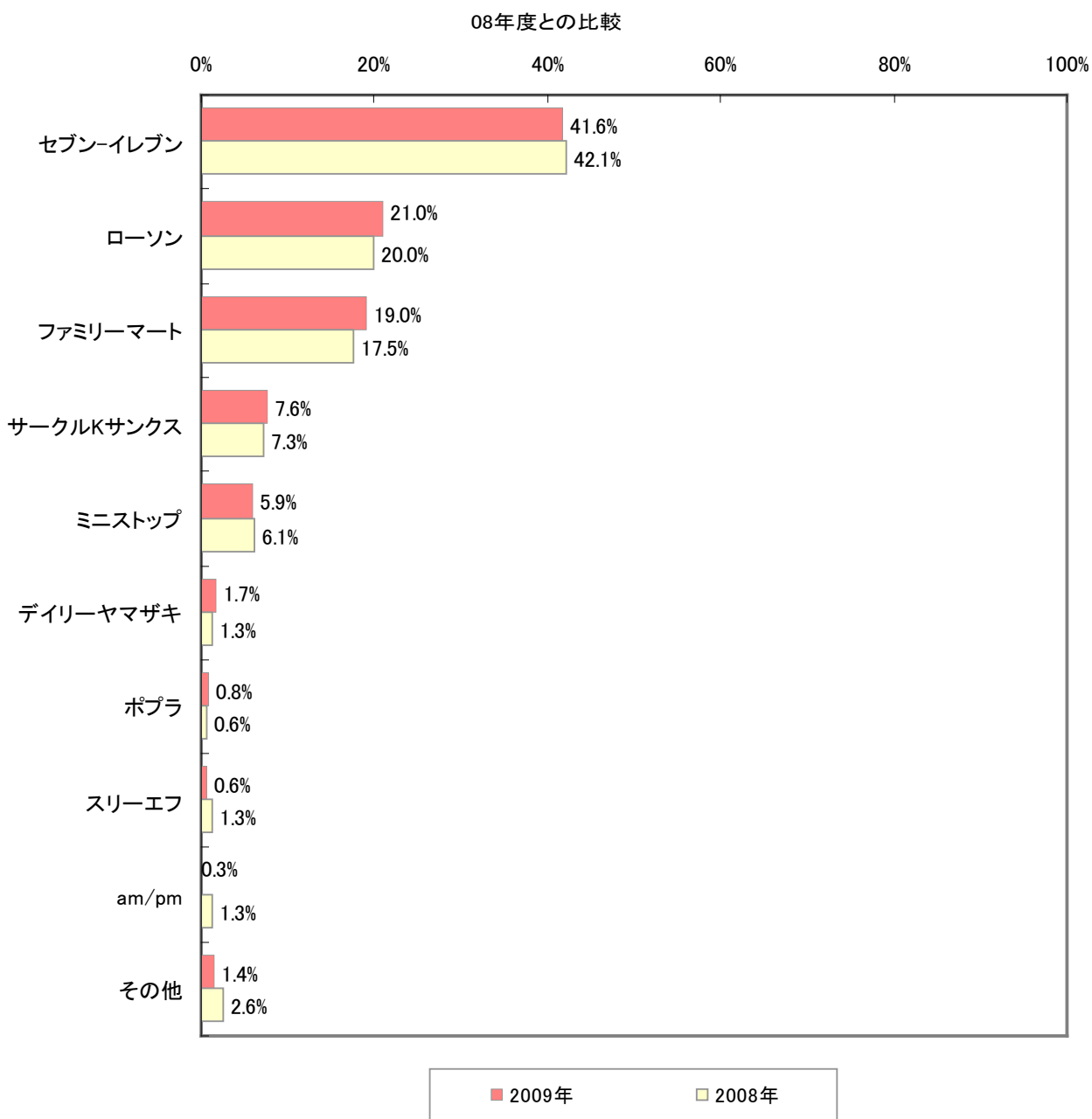
最もよく行くコンビニについて質問したところ、「セブン-イレブン」が全体の41.6%とかなり多く、次いで「ローソン」が21.0%、「ファミリーマート」が19.0%と続き、他のコンビニについては1割に達しませんでした。

性別で見ると、「ファミリーマート」や「ミニストップ」では、男の子より女の子の回答が若干多くなっていました。

2008年の調査結果との比較では、大きな変化は見られず、「セブン-イレブン」の利用率の高さが浮き彫りになっています。



よく行くコンビニは「セブン-イレブン」



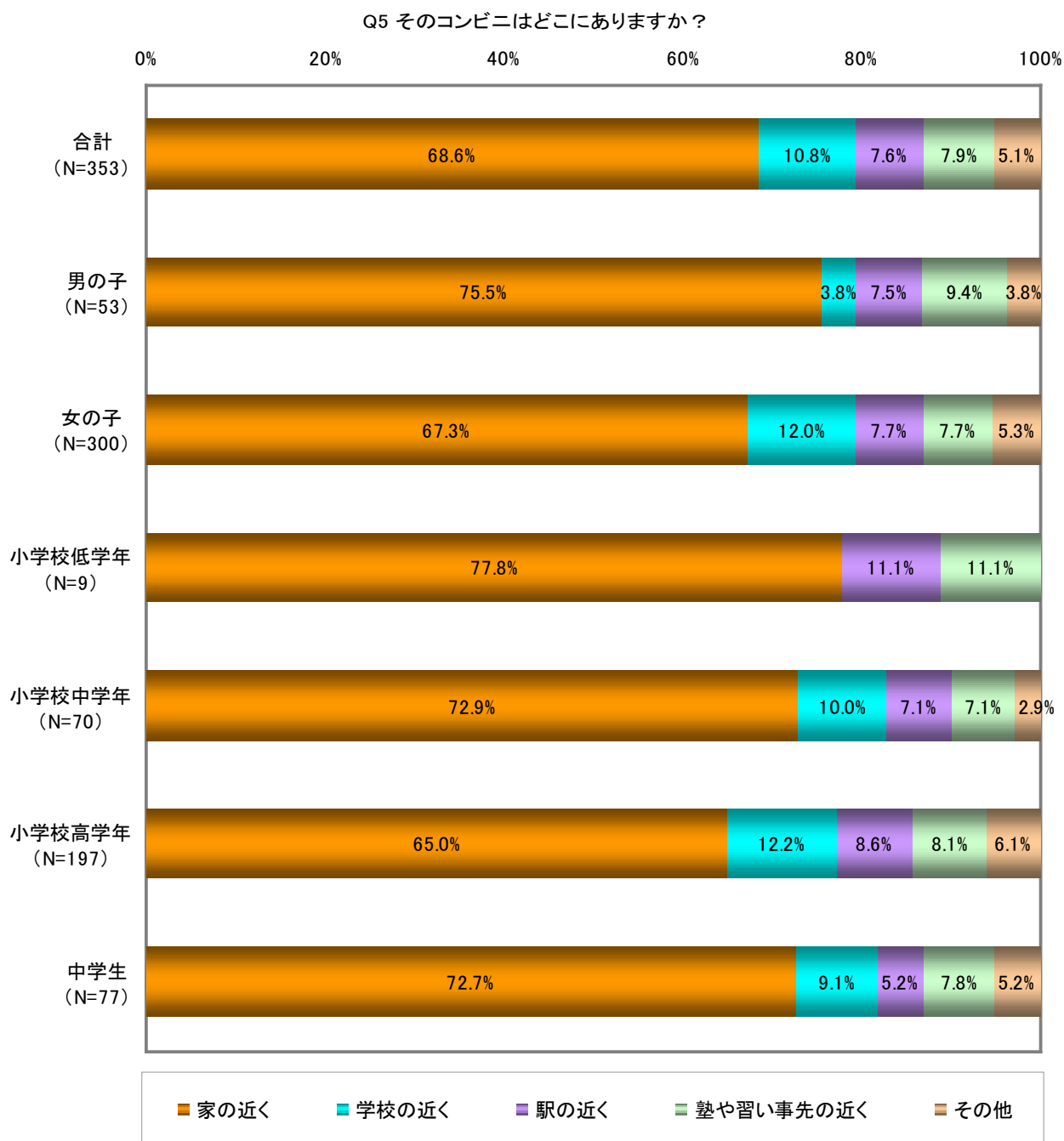
※「その他」を除き、2009年の合計の数値が高い順に並び替え

「家の近く」のコンビニに行く子どもが7割近く

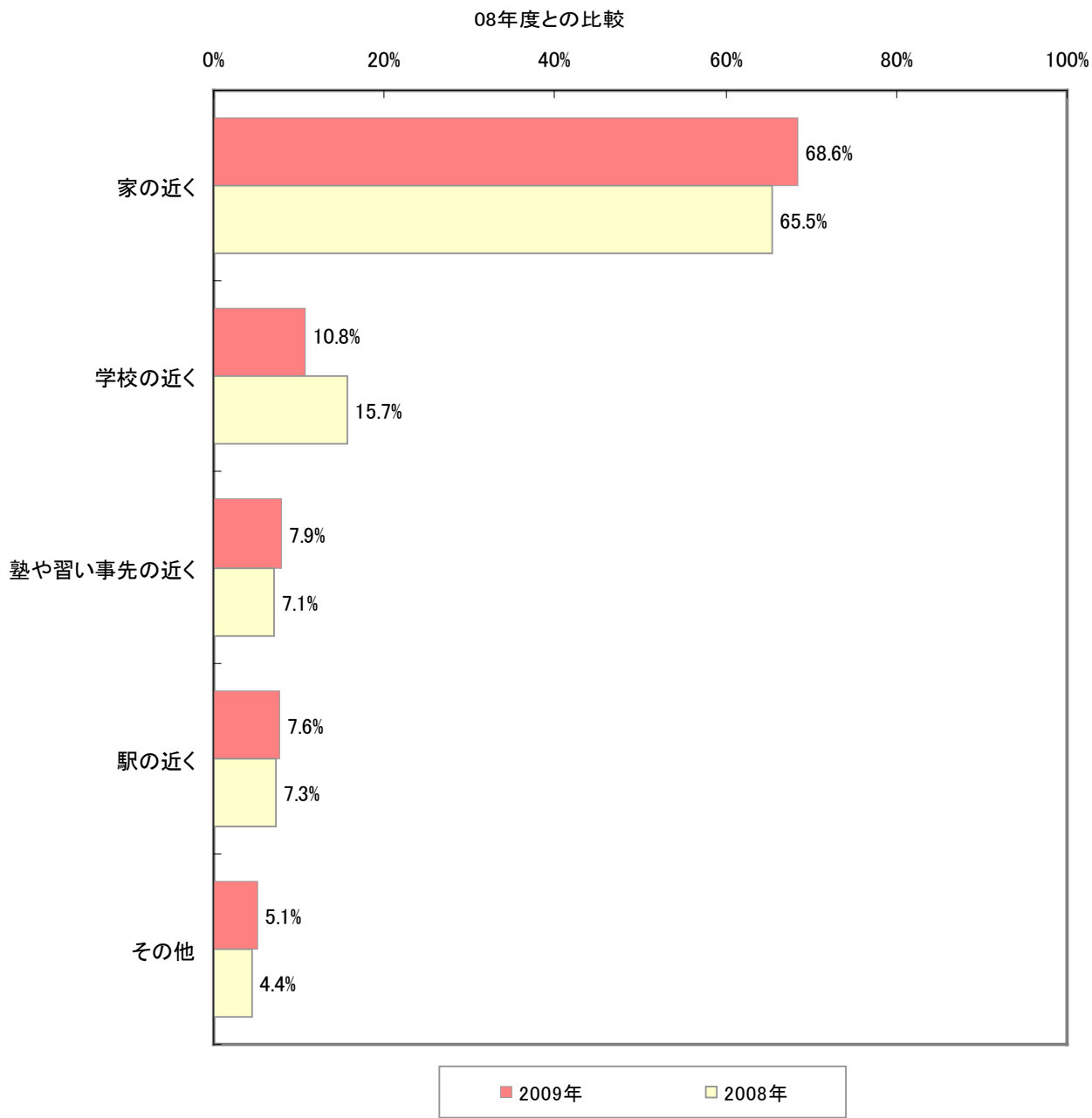
よく行くコンビニの場所について聞いたところ、「家の近く」が全体の68.6%と圧倒的に多いことがわかりました。

また、性別で見ると、「学校の近く」では男の子が3.8%だった一方で、女の子は12.0%と1割を超えていました。

2008年の調査と比較してみると、「学校の近く」の回答が若干減少した一方で、「家の近く」の回答がやや増加しました。



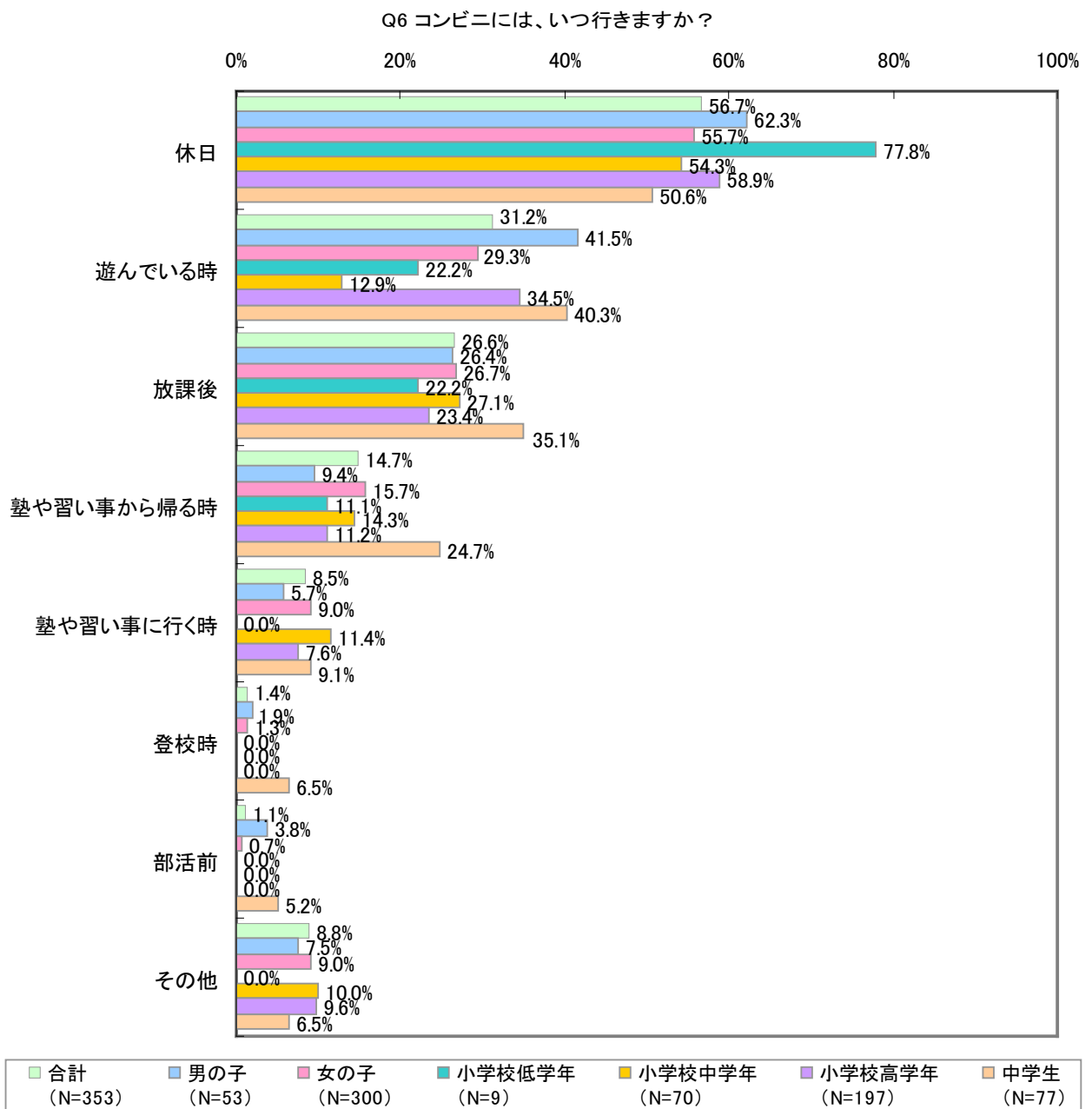
「家の近く」のコンビニに行く子どもが7割近く



※「その他」を除き、2009年の合計の数値が高い順に並び替え

コンビニ利用は、「休日」が6割近く、「遊んでいる時」が3割以上、「放課後」が3割近く

いつコンビニに行っているのか聞いてみたところ、「休日」が全体の56.7%とかなり多く、次いで「遊んでいる時」が31.2%、「放課後」が26.6%と続きました。特に「遊んでいる時」では、性別で見ると男の子、学年別で見ると小学校高学年と中学生の回答が他に比べ多く見られました。また、「放課後」では、中学生の回答が3割を大きく超えたほか、「塾や習い事から帰る時」では、性別で見ると女の子、学年別で見ると中学生の回答が他に比べ若干多くなっていました。中学生になると、学校帰り・塾帰りにコンビニへ寄り道する頻度が高くなる傾向にあることがわかりました。



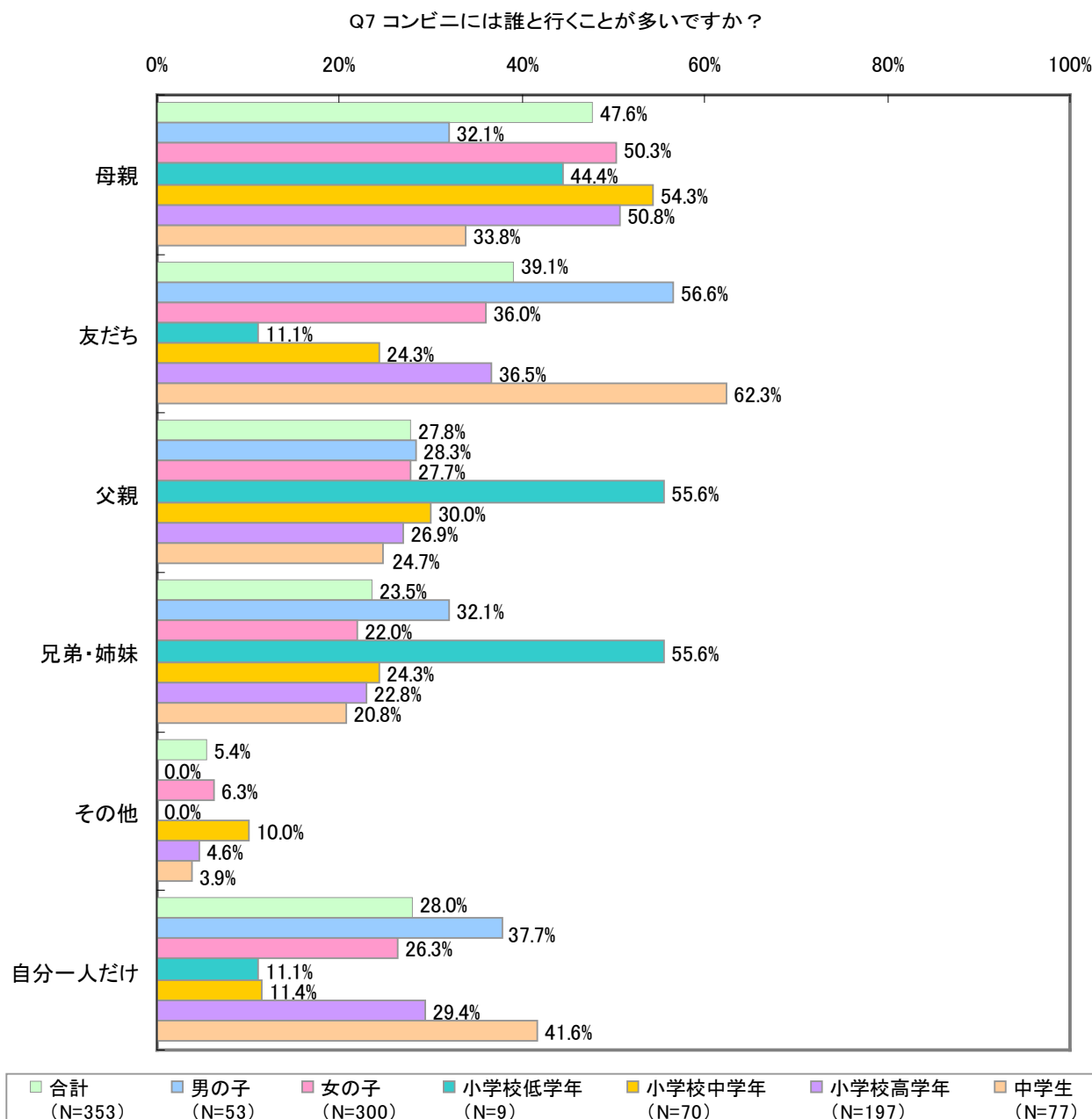
男の子は「友だち」と、女の子は「母親」とコンビニに行く

誰とコンビニに行くことが多いかについては、「母親」が47.6%と最も多く、次いで「友だち」が39.1%、「父親」が27.8%と続きました。

性別で見ると、男の子では「友だち」が6割近く、一方女の子では「母親」が半数以上と最も多くなりました。

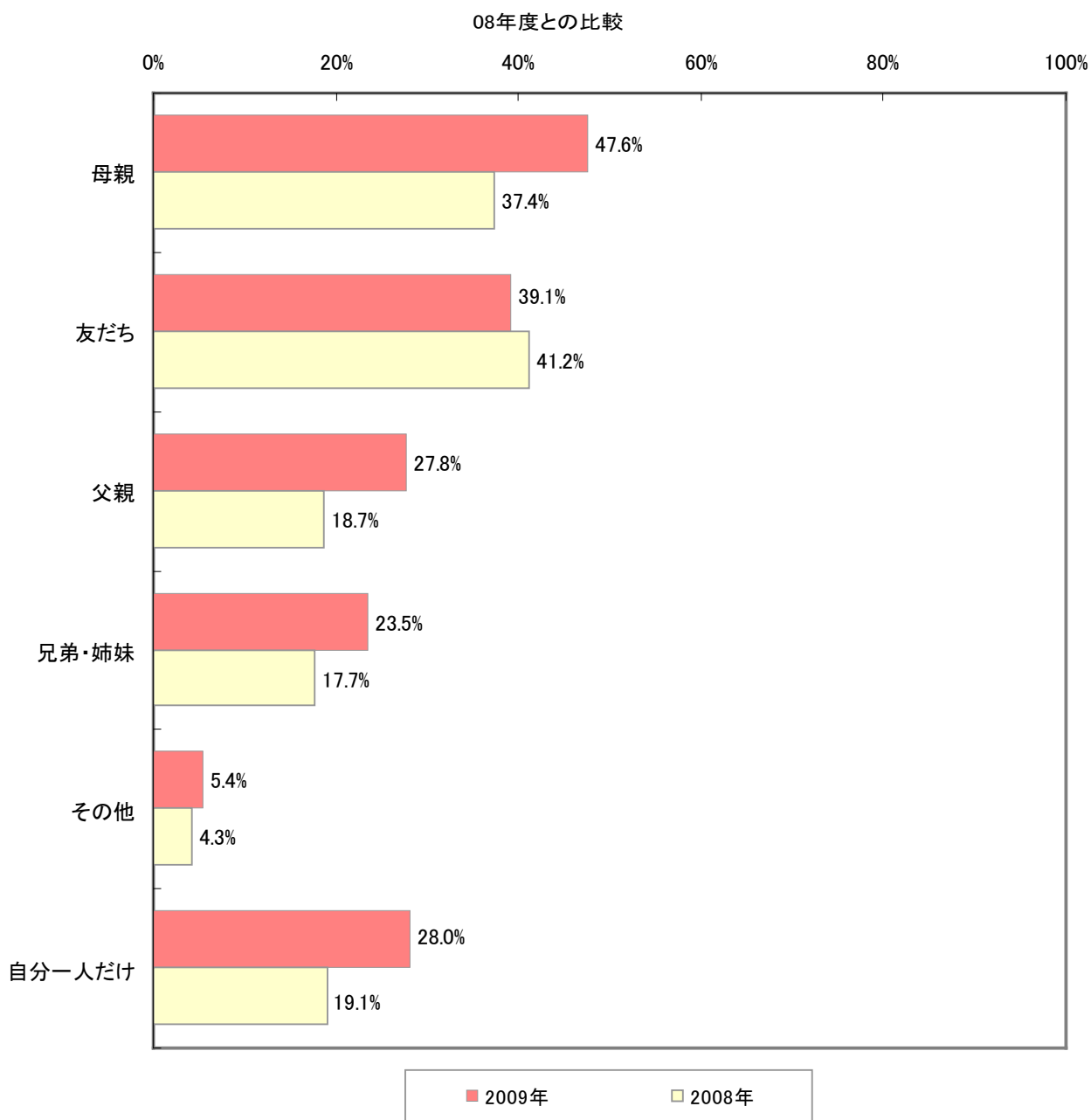
また、学年別で見ると、小学校中学年・高学年では「母親」の回答が半数以上に達しましたが、中学生では「友だち」が6割以上、「自分一人だけ」が4割以上という結果になり、自分の意思で買い物をする子どもが増えることが推測されます。

2008年の調査結果との比較では、「母親」「父親」「兄弟・姉妹」「自分一人だけ」の回答が増加しました。



※「その他」「自分一人だけ」を除き、合計の数値が高い順に並び替え

男の子は「友だち」と、女の子は「母親」とコンビニに行く



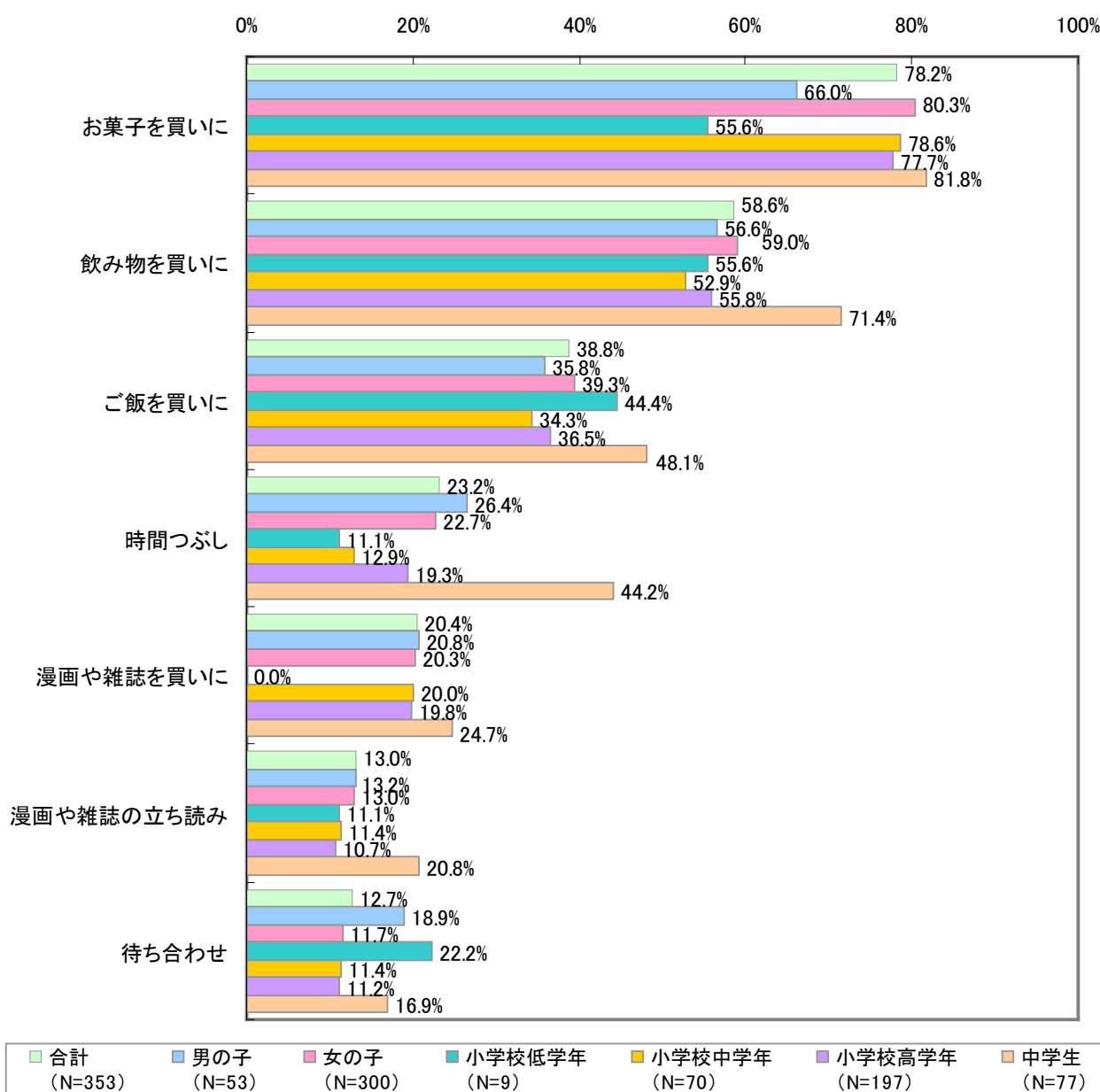
※「その他」「自分一人だけ」を除き、2009年の合計の数値が高い順に並び替え

コンビニ利用目的1位は「お菓子を買いに」で8割近く

コンビニに行く目的について質問したところ、「お菓子を買いに」が78.2%と最も多く、次いで「飲み物を買いに」が58.6%、「ご飯を買いに」が38.8%と続きました。

性別で見ると、「お菓子を買いに」では男の子が6割台であったのに対し、女の子では8割を超えており、お菓子目当てのコンビニ利用は男の子よりも女の子に多いことがわかりました。また、学年別で見ると、全体的に中学生の回答が他の学年に比べ高くなっており、特に「飲み物を買いに」では7割以上、「時間つぶし」では4割を大きく超えていました。中学生におけるコンビニ利用目的の多様化は、中学生になってからの生活スタイルの変化による影響の表れと言えるかもしれません。

Q8 具体的に、コンビニには何を目的に行きますか？



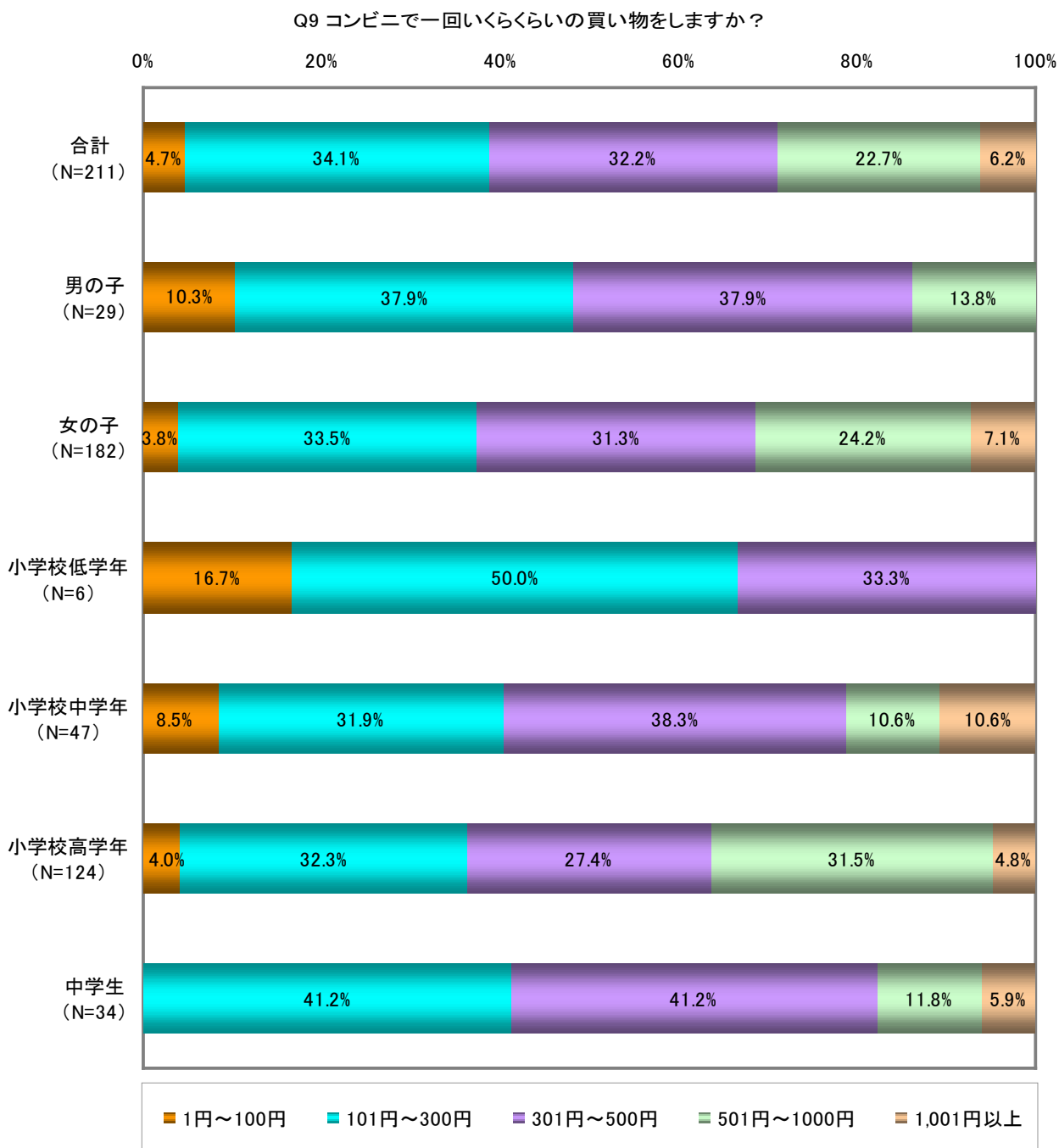
※「その他」を除き、合計の数値が高い上位7位

7割以上の子どもが、一回のコンビニ代について500円以下と回答

コンビニでの一回の買い物代について聞いたところ、「101円～300円」が全体の34.1%と最も多く、次いで「301円～500円」が32.2%と続きました。また、一回のコンビニ代が500円以下と回答した子どもが全体の7割以上に達することがわかりました。

性別で見ると、男の子では500円以下が9割近くに達し、501円以上は1割程度でしたが、女の子では500円以下は6割台にとどまった一方、501円以上が3割を超えており、一回のコンビニ代は男の子より女の子の方が多という結果でした。

また、学年別で見ると、500円以下では中学生が8割以上と最も多く、501円以上では小学校高学年が4割近くに達し最も多くなっていました。



コンビニに行く理由1位は 「家、学校などの近くや通り道にあるから」で5割近く

コンビニに行く理由では、「家、学校などの近くや通り道にあるから」が全体の47.6%と最も多く、次いで「営業時間を気にしなくていいから」が30.9%、「商品の種類が多いから」が24.1%と続きました。

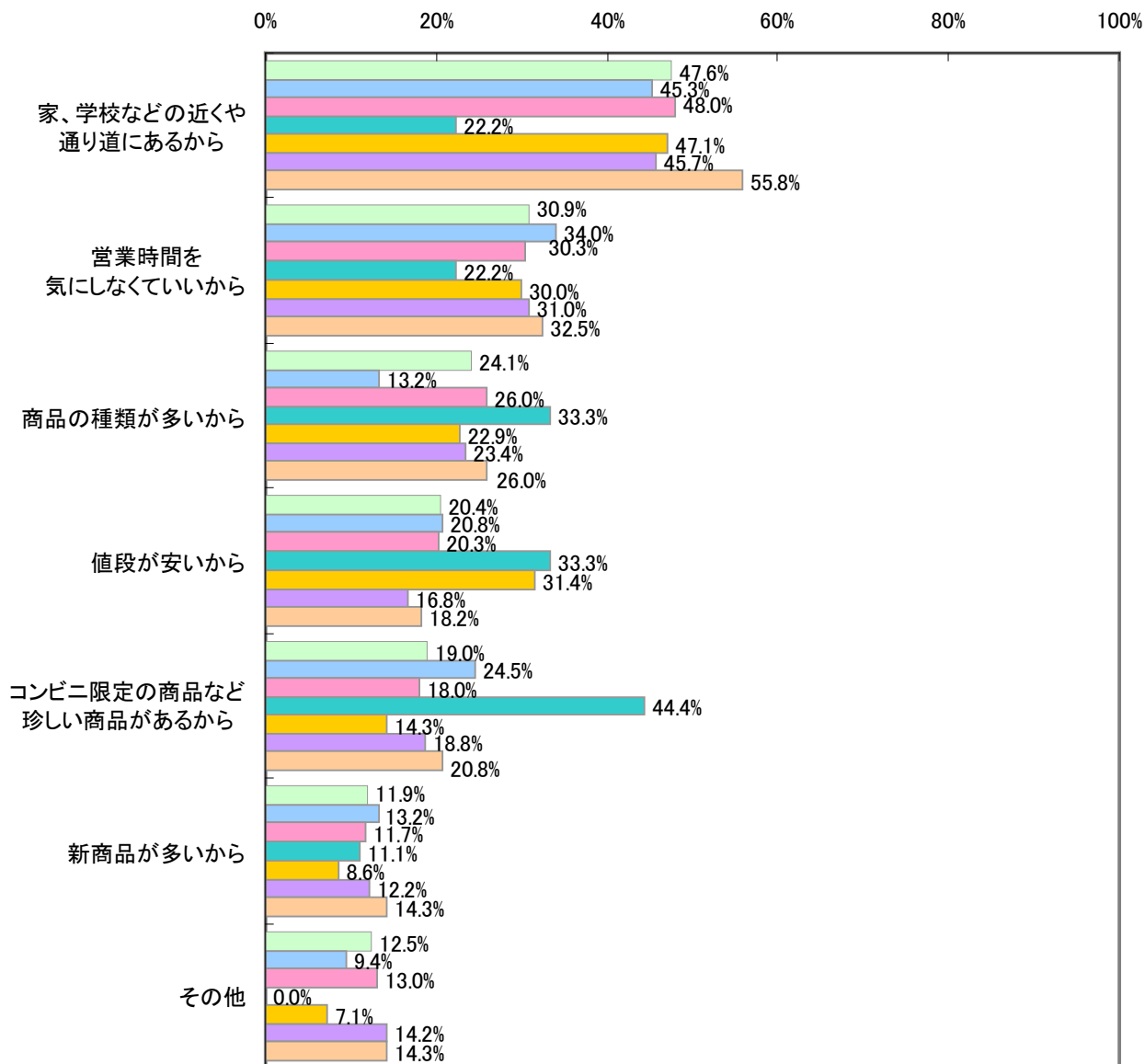
性別で見ると、「商品の種類が多いから」では男の子は1割台でしたが、女の子では3割近くに達しており、男の子より女の子の方が品揃えを気にしているようです。

また、学年別で見ると、小学校中学年において「値段が安いから」の回答が3割を超え他の学年に比べ多くなっていました。

2008年の調査結果と比較してみると、「家、学校などの近くや通り道にあるから」や「営業時間を気にしなくていいから」といった項目で回答が増加しており、時間を気にせず何となく立ち寄ってしまう子どもが増加していることがうかがえる結果でした。

コンビニに行く理由1位は「家、学校などの近くや通り道にあるから」で5割近く

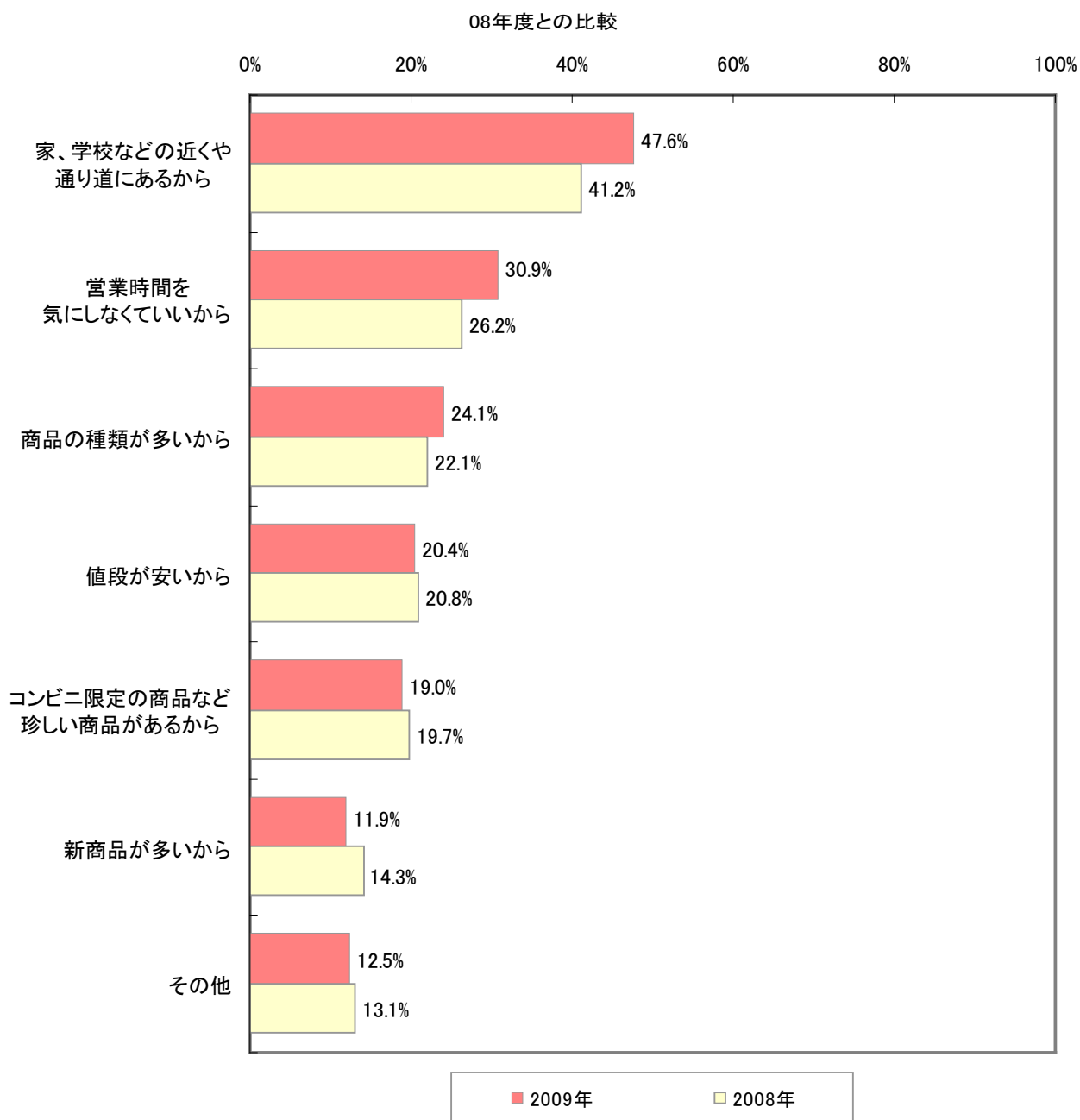
Q10 コンビニに行く理由は何ですか？



■ 合計 (N=353)
 ■ 男子 (N=53)
 ■ 女子 (N=300)
 ■ 小学校低学年 (N=9)
 ■ 小学校中学年 (N=70)
 ■ 小学校高学年 (N=197)
 ■ 中学生 (N=77)

※「その他」を除き、合計の数値が高い順に並び替え

コンビニに行く理由1位は「家、学校などの近くや通り道にあるから」で5割近く



※「その他」を除き、2009年の合計の数値が高い順に並び替え

「コンビニ」は「何でもあって、いつでも開いていて、楽しい」イメージ

「コンビニ」のイメージについて聞いたところ、「何でもあって手軽に利用できる」「24時間営業でいつでも開いている」といった利便性を評価した意見や、「楽しい、美味しい、安い」といったポジティブな印象が多く挙げられた一方で、「怖い・危ない」といったリスク面に目を向けたシビアな回答もわずかに見られました。